

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和6年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社さんびる
 担当課 松江歴史館
 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 総合評価

市	B	【優れていると評価した点】 SNS広告の実施、SNSでの情報発信や、県内外で開催された観光情報説明会への参加、旅行会社への営業など、積極的な営業活動を行った。 自主事業として各種誘客イベントを開催し、多くの参加者があり、入館者数の増加につながった。 また、施設の適切な管理を実施した。 【課題、改善点等】 誘客イベント等の実施により入館者数が多い日があるが、入館者数と観覧者数が大きく乖離しており、入館者数の増加割合に対しての観覧者数の増加割合が低いことが課題である。イベント参加者や喫茶事業の利用者を観覧につなげ、観覧者数の増加につながる工夫が必要である。また、松江城周辺施設からの誘客強化も課題である。
	A	【優れていると評価した点】 「防災対策について」の講座を受けた後、避難誘導訓練も行い、歴史館の建物を意識した実践的な訓練が出来た。また、「観光における心のバリアフリー認定制度」説明会へ参加し、認定を受けた。加えて、正面玄関周辺の転倒防止の為に手摺付すこの設置を行い、危機管理についての対策を講じることができた。 周年記念イベントにあたって外部の駐車場を借り、臨時駐車場を準備。また初めてSNS広告を委託し行った。結果、観覧者数、入場者数共に昨年度と比べ約2倍のお客様に来館していただいた。 【課題、改善点等】 企画展示室の監視員とボランティアスタッフの対応や勤務状況に対してお客様より意見があったため、真摯に受け止め改善し、お客様満足向上に努めた。

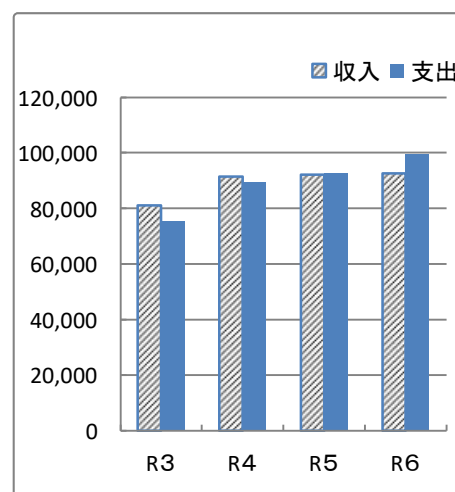
2. 施設利用の増減について

【松江歴史館】 入館者数は、145,149名(前年度比139.5%)、観覧者数は49,449名(前年度比101.6%)であった。 観覧者数の内訳は、基本展観覧者数が33,266名(前年度比107.2%)、企画展観覧者数が16,183名(前年度比91.9%)であった。 【松江ホーランエンヤ伝承館】 入館者数は、7,060名(前年度比114.7%)であった。松江歴史館からの誘導率は10.8%であった。 歴史館からの誘導率が昨年より2.7%減少した。
--

(1) 収支状況の推移

(千円)

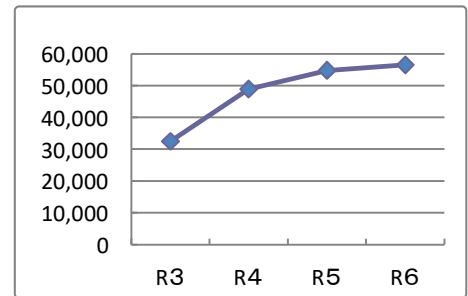
施設収支の推移		R3	R4	R5	R6
施設の収支	収入	81,074	91,450	92,223	92,639
	うち指定管理料	77,889	77,476	78,620	78,631
	うち利用料	0	0	0	0
	支出	75,360	89,364	92,562	99,555
	差引	5,714	2,086	△ 339	△ 6,916
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	5,937	9,842	12,300	12,290
	支出	14,807	18,389	24,608	28,737
	うち市の修繕費	0	3,421	9,219	11,447



(2) 利用者の推移

(人)

R3	R4	R5	R6
32,489	48,946	54,802	56,509



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値

B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値

C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	歴史館観覧者数(年間)	57,000	61,500	49,449	80.4%	86.8%
	伝承館入館者数(年間)	9,000	9,800	7,060	72.0%	78.4%
	利用者アンケート(満足度・%)	80	83	95	114.3%	118.6%
アウトカム	モニタリングでの肯定的回答割合(%) (松江の歴史や文化についてより関心が高まった)	80	83	94		
				達成度 平均	88.9%	94.6%

達成度 に対する 意見	指定管理者	市
	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 観光客(インバウンド客含む)は増加傾向にあり、その中でおこなった誘客イベントなどが効果があったと考えられる。令和7年度は140%になる様に展示を絡めた誘客イベント、周辺観光施設との連携、旅行会社への営業、広報活動強化を実施する。	【達成度の原因・分析】 昨年度と比較して歴史館観覧者数及びホーランエンヤ伝承館入館者数は増加したが、基準及び目標値に達していない。松江城周辺施設からの誘客や、松江歴史館観覧者のホーランエンヤ伝承館の入館への誘導強化など、観覧者数増加につながる誘客活動をする必要がある。 利用者の満足度は基準値等を上回っており、窓口での接客対応や各種イベントの実施が寄与した要因の1つと思われる。しかしながら、アンケートの回収率が低く課題である。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
1,010	①満足している 959件(95.0%) ②どちらともいえない 44件(4.3%) ③満足していない 7件(0.7%)	①良い スタッフの対応が丁寧でとてもよく、掃除が行き届いていて、気持ちよくゆっくりと楽しめた。 ②苦情 もう少し庭の手入れをしてほしい。 ③要望 靴を脱ぐ必要があることを事前にわかるとよい。

(4)住民サービス向上の事例

松江水燈路や松江歴史館14周年にあわせ、松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館の無料開放(10月5日夜間、3月23日)を実施した。

3. 自主事業

市の評価	多くの自主事業イベントを実施し、入館者数の増加につながった。また、地域の団体と連携したイベントを実施し、集客及び歴史館の知名度UPに寄与している。
実施状況	今年度初めて松江算数活塾との「いきいき歴史館寄席 こども落語会公開稽古」「落語と怪談イベント」や、島根大学 演劇部と「怪談演劇」を実施した。イベントでは、小泉八雲の怪談もとりあげた。地元の人が気軽に歴史館に足を運んでもらえるきっかけになった。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	指定管理者 評価	松江市 評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	A	B
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	B	B
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A	A
広報活動	A	A
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	C	C
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A	A
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	A	A
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A	A
清掃業務	A	A
機械設備等の保守点検	A	B
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A	B
松江市への報告	A	B
労働安全衛生	A	A
施設の巡視	A	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A	B
備品の管理	A	A